

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：2/5～2/9

・ 2/5(月)

佐賀県で自衛隊ヘリが民家に墜落、平昌オリンピックについて、名護市長選挙の振り返り、森友学園問題などについて報じられました。平昌オリンピックについての報道構成は放送法第四条の観点からはやや不十分な点が見られました。また、名護市長選挙の振り返りについては放送法第四条に抵触するシーン、印象操作のおそれの高いシーンが見られました。また、名護市長選挙の振り返りについては検証者の所感を記しました。

・ 2/6(火)

眞子さまと小室さんの結婚延期、平昌オリンピックと南北朝鮮関係、佐賀県での自衛隊ヘリ墜落の続報、世界同時株安などについて報じられました。これらのトピックについては放送法第四条の観点からの検討を行いました。特に問題は見られませんでした。また、平昌オリンピックと南北朝鮮関係については検証者の所感を記しました。

・ 2/7(水)

平昌五輪、福井県大雪、小室さん母子と秋篠宮、担当大臣が「言い間違い」で波紋、南相馬避難民の原発事故訴訟、自民党で憲法 9 条を議論などについて報じられました。これらのトピックについて放送法第四条の見地から検討を行いました。いずれのトピックも特に問題は見られませんでした。また、担当大臣の「言い間違い」についての報道については検証者の所感を記しました。

・ 2/8(木)

平昌オリンピック前の北朝鮮の行動、区立泰明小学校で制服にアルマーニ導入、眞子さまご結婚延期について宮内庁長官の発言、滋賀・甲賀市で昨年の衆院選の投票用紙が焼却、産経新聞が記事削除し謝罪などについて報じられました。これらのトピックについて放送法第四条の見地から検討を行ったところ、区立泰明小学校で制服にアルマーニ導入についての報道については放送法第四条の見地から不十分な箇所、および印象操作のおそれの高いシーンが見られました。また、この問題については検証者の所感を記しました。

・ 2/9(金)

平昌オリンピック開会式と国際関係、江崎大臣の言い間違い、中央区立泰明小学校のアルマーニ制服などについて報じられました。これらのトピックについて放送法第四条の見地から検討を行いました。特に問題は見られませんでした。泰明小学校についての報道には検証者の所感を記しました。また、今回の報道は平昌オリンピック開会式や競技の様子などの報道に多くの時間が割り当てられていました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 2月2号 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年2月5日
<p>出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈</p> <p>※駒田健吾キャスターは佐賀から中継 ※宇内梨沙キャスターと高橋尚子キャスターは平昌から中継</p>		
<p>検証テーマ：自衛隊ヘリ、平昌オリンピックと南北朝鮮関係、名護市長選挙、森友学園問題</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 佐賀県、自衛隊ヘリが民家に墜落、隊員一人死亡・一人不明 ・ 平昌オリンピック <ul style="list-style-type: none"> 日本でも開幕ムード 南北合同チーム ・ 名護市長選挙 ・ 恵方巻きと大量廃棄 ・ 愛媛県、聖カタリナ学園高校で期末試験の採点を生徒にさせるといふ不祥事 ・ 埼玉県、白骨化した三遺体が住宅で発見される ・ 女子アナブームの火付け役、有賀さつきさん(52)死去 ・ 森友学園問題 ・ スポーツ報道 ・ 天気予報 ・ 【最新】 自衛隊ヘリ墜落、飛行ルートが明らかに 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自衛隊ヘリ墜落 <p>午後4時43分ごろ佐賀県神埼市の住宅街に陸上自衛隊のヘリコプターAH-64Dが墜落したこと、事故を起こした同型機全機を飛行停止にして点検を行う他、陸上自衛隊すべての航空機についても点検を行うという防衛省の対応について報じられた他、駒田キャスターが現地から中継を行っていた。また、専門家の見解として元航空自衛官で現在は国際地政学研究所の事務局長を務めている林吉永氏の「過去五年の統計を調べてみますと70件以上の墜落事故が起きておりますこの70件以上の墜落事故の内70%以上が操縦ミス、後25%が機体の不具合エンジンが止まる」や「飛行中にこれだけ大きなものが剥がれてあるいは外れて落ちるといふことはありえないですね常識的には、考えられないです、期待にトラブルが発生したというふうにはしか考えられない。どのように整備が行われていたか、整備が確実にそれが行われていたか、ということが重大なチェックのポイントになると思います。」というコメント、元陸将で陸上自衛隊でのパイロット経験がある山口昇氏の「目達原の周りでは、私もとんだことありますけれども、あの民家を避けるのはそんなに難しいところじゃないですね、民家を避けられなかったということはこれよっぽどのことがなければ起きい事象だと思いますよ。目達原からですと、海に出るのが一番早いんですね。訓練できる場所というのは海、海か山の中に行ってからやるんですけれども、出発して向かうときか返ってくる時かという感じだと思うんですね。」というコメントが紹介された。</p> <p>また、番組の最終盤には最新の情報として明らかになったヘリの飛行ルートについて報じられた。</p> 		

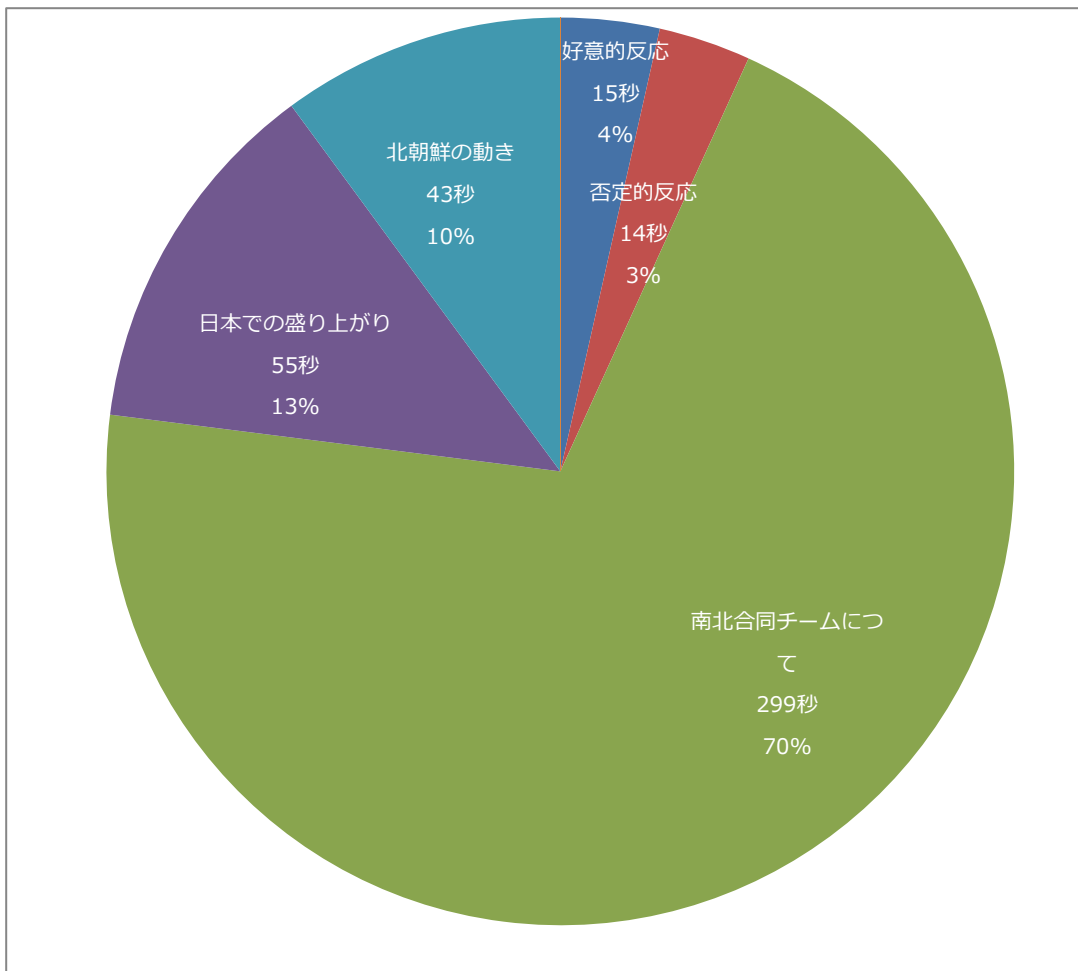
このトピックについて当てられた放送時間は 622 秒だった。

なお、今回は事故についてと防衛省の対応についての報道に終止していたため、特に賛否や論点が分かれるような報道ではなかった。

・平昌オリンピックと国際関係

平昌オリンピックを控えて、新潟市で女子フィギュアの金メダル候補メドベージェワ選手らロシア人選手が最終調整を行いこれに新潟市長が激励と記念撮影を行うといった日本での盛り上がり、北朝鮮と韓国の南北合同チームについてとこれに対する肯定的ないし否定的な市民の反応、北朝鮮の政治的な動きについて報じられた。

このトピックに当てられた時間は 126 秒で、それぞれのポイントについての時間の配分及び比率は以下のとおりである。



報道では主に、合同チームについて選手たちのユニフォームには朝鮮半島が大きく描かれ会場にも巨大な統一旗が掲げられましたことや、国歌ではなく両国にとって親しみ深い朝鮮半島の民謡のアリダンを流すなど合同チームならではの様々な配慮があったことが報じられた他、アイスホッケー女子元日本代表監督の信田憲司氏による、北朝鮮の選手はまだチームの戦術について理解ができていないこと、対戦相手のスウェーデン選手や北米から招聘したコーチの元指導を受けていた韓国の選手に比べるとスケートティングの技術が劣っていること、生活面

や報道でチームの歯車が狂う脆さがあるという指摘が紹介された。また、北朝鮮のチョン・スヒョン選手「南北の選手が力と心を合わせれば、必ず良い結果が出ることを確認しました。」というコメントや南北合同チームの監督であるサラ・マリー監督「北朝鮮の選手たちは覚えが早いしとてもやりやすい、去年の7月はスウェーデンに一方的に負けました。チームは進歩しています。」のコメントも紹介された。

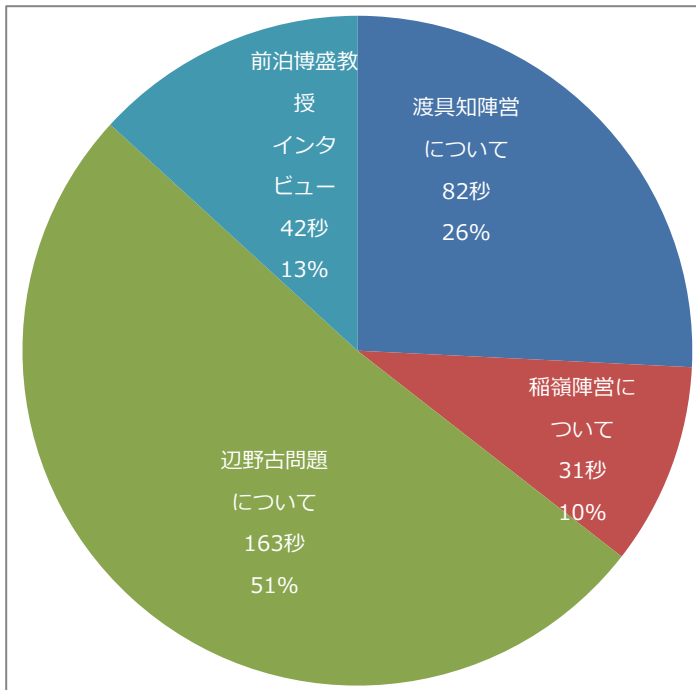
このように、概ねスポーツチームとしてどうなのか、という点に焦点が当てられた報道だった。

この番組ではスポーツ報道については後半の方でコーナーを設けていることから、南北合同チームについてスポーツチームとしてどうなのかという報道は後半のスポーツ報道コーナーで取り上げることも可能であったはずだが、今回はスポーツチームとしての報道に大きく時間を割かれた反面で、南北合同チームに対する市民の反応や、北朝鮮の動きについての報道が手薄になってしまう結果となった。南北合同チームに対する市民の反応や北朝鮮の動きは日本を含めた極東の国際関係にも重要であることを踏まえると、こうした点の報道が手薄になるというのは放送法第四条一項四号「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。」の点に直ちに反しているとは言えないものの、かなり不十分であったといえる。

・名護市長選挙

2月4日に行われた沖縄の名護市長選挙について振り返る報道だった。

渡具知陣営の様子、稲嶺陣営の様子、争点としての辺野古基地問題について、沖縄国際大学で基地経済を専門とする前泊博盛教授へのインタビューなどが取り上げられていた。このトピック自体に当てられた時間は456秒で、それぞれのポイントについての時間配分及び比率は以下の通りであった。



直接的に両陣営を取り上げた時間では当選した渡具知陣営を取り上げたシーンの方が稲嶺陣営を取り上げたシーンよりも多くの時間が割り当てられていた。これは一見すると、渡具知陣営に偏った報道であり、放送法第四条一項二号「政治的に公平であること」に反していると考えられる。しかし、他方で今回のトピックで多くの時

間が割り当てられていた辺野古問題については稲嶺陣営が打ち出していたアジェンダであり、渡具知陣営は触れていなかったことは、稲嶺氏も「残念ながら辺野古移設問題が、なかなか争点となりえず、その争点が、争点をはぐらかされてしまった」と報道の中で紹介されたコメントの中で認めていることである。加えて、渡具知氏が打ち出した争点については報道の中ではほとんど触れられず、報道の中で言及された「再編交付金」を受け取る姿勢であること、「ありとあらゆる予算を、獲得するために自ら汗をかき」という選挙中での発言が紹介されたのみで、具体的にどういった経済振興策を用意しているか、ということについては報じられなかった。また、辺野古問題を取り上げたシーンの実態としては稲嶺陣営の紹介となっていた部分も少なくないことから、これらを総合的に勘案すると、渡具知陣営に偏った報道だからではなく、選挙の争点として辺野古問題のみを取り上げる相当程度稲嶺氏の立場に立った報道であるという点において稲嶺陣営に偏った報道であるという理由から、放送法第四条一項二号「政治的に公平であること」に抵触しているといえる。また、選挙の争点として稲嶺氏の打ち出した争点のみを紹介し、市民の票を得て当選したはずの渡具知氏の打ち出した焦点を取り上げていないのは放送法第四条一項四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」という点でも極めて大きな問題があるといえる。

また、スタジオでは雨宮キャスターが「皆川さんは取材をしていてどのような思いを感じましたか？」の問いかけに対して、皆川キャスターが「あの、八年間、反対派の人は何度も声を上げても工事は止められなくて、その声が国政に届くことはなかったんですね、ですから選挙で民意を示しても受け入れられなかった、そこに悔しさと疲れを感じているように見えました。」と答えていた。確かにVTRで紹介された、名護市でスーパーマーケットを営む許田正儀さんの「地域が反対してね、それが阻止できるんですけどね、それはもう頑張りましたよ。でもその時点でおそらく政府との振興策とかね、対話がなくなるだろうとそれよりもそういうものを覚悟の上で実を取ろうと」というコメントやナレーションの「名護市辺野古でスーパーマーケットを営む許田正儀さん、基地移設に反対する立場から前々回の選挙では稲嶺氏に票を入れた戸田さん、しかし今回は渡具知氏に、票をいれたといいます」、「許田さんがいう実、その一つには再編交付金があります。再編交付金とはアメリカ軍の再編で負担が増える自治体に政府から交付されるもの」という補足説明、あるいは基地移設に反対する名護市民の篠原孝子さん(54)の「国から再編交付金をもらった時、じゃあ名護市は豊かだったんですか、ということなんですよ。」、基地移設に反対する名護市民の金城武政さん(64)の「部落はほんとうにみんな一緒になって生活したいというのが有るんだけど国の狙いは分断させることなんですよ。」というコメントなどからは、確かに皆川キャスターの言う「悔しさと疲れ」が見えることは否定できない。しかし、この辺野古の問題は、稲嶺市政での八年間の問題ではなく、1995年の沖縄米兵少女暴行事件で高まった沖縄の米軍基地に反対する運動や普天間基地の返還要求をする運動、2006年に合意に至った2014年までに代替施設を建設し移転させるというロードマップ、2009年の民主党鳩山由紀夫政権が移設案を再度審議、様々な代替案が提示された後に2010年に県外移設は不可能との結論に達し再度辺野古のキャンプ・シュワブへの移設での決着、といった経緯がある問題である。

こうした経緯に言及せずに基地問題を稲嶺市政八年間のアジェンダであるかのように報道する姿勢は放送法第四条一項三号の「報道は事実をまげないですること」という点からも非常に問題のあるものだといえる。

・森友学園問題

森友学園問題について立憲民主党の逢坂誠二衆議院議員から麻生太郎財務大臣に対する質疑と、その中で国税

庁所管以外の分野に関心が集中しているため国税庁長官就任の記者会見は開かないということを佐川長官の意向で決められたと明らかになったことが報じられた。また、佐川長官の問題で現場は苦しくなる、という国税庁元幹部の意見が取り上げられていた。このトピックについて当てられた時間は 158 秒だった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・名護市長選挙

「放送法第四条の見地からの検証」の欄にも記した、選挙の争点として基地問題のみを取り上げるのに終始した報道姿勢は、全国の視聴者に対して、名護市という地方自治体が基地問題以外に抱えている問題を矮小化した印象を与えているおそれがあると考えられる。

また同様に「放送法第四条の見地からの検証」の欄にも記した、皆川キャスターの「あの、八年間、反対派の人は何度も声を上げてても工事は止められなくて、その声が国政に届くことはなかったんですね、ですから選挙で民意を示しても受け入れられなかった、そこに悔しさと疲れを感じているように見えました。」や VTR の構成は本当は 1990 年代からの問題であった辺野古の基地移設問題について、ここ八年間の問題という誤った印象を視聴者に対して与えてしまう恐れがあると考えられる。

検証者所感

・名護市長選挙

当選した渡具知候補が選挙戦で訴えたアジェンダや実際に投票した有権者が重視した政策などに殆ど触れずに、落選した稲嶺元市長の訴えた基地問題についての報道に終止する姿勢には驚きを隠せなかった。名護市にとって基地問題は重要な争点の一つであることは事実だろうが、稲嶺氏が「残念ながら辺野古移設問題が、なかなか争点となりえず、その争点が、争点をはぐらかされてしまった」とコメントしていたように、基地問題は選挙では争点にならなかった。それは基地問題以上に多くの住民にとって重要と感じられる問題があったからであり、逆に言うとそうした問題に比べると基地問題は住民にとって優先順位が低かったということにはほかならないのではないだろうか。現に選挙結果で示された民意はそうしたことを示している。であれば、本当に有権者が重視した問題は何だったのか、ということ掘り下げていくような姿勢こそ、選挙後の総括としての報道に求められたのではないだろうか。今回のような報道は選挙結果やそこで示された民意を軽んじているように見える。

また、基地問題と言えば、名護市長選挙と同日に、イージスアショアの配備候補地として挙げられている萩や岩国米軍基地を県内に抱える山口県の県知事選挙も行われていたが、これについて報道の中では全く言及がなかった。ローカル番組ではなく全国区の番組なのだから、一つ一つの選挙に焦点を当てるべきだとは思わないが、特定の地方公共団体での選挙に焦点を当てるのであれば、他の地方公共団体についても焦点は当てないにしても、他の自治体でも同日に選挙が行われていたことを伝えてもよいのではないだろうか。

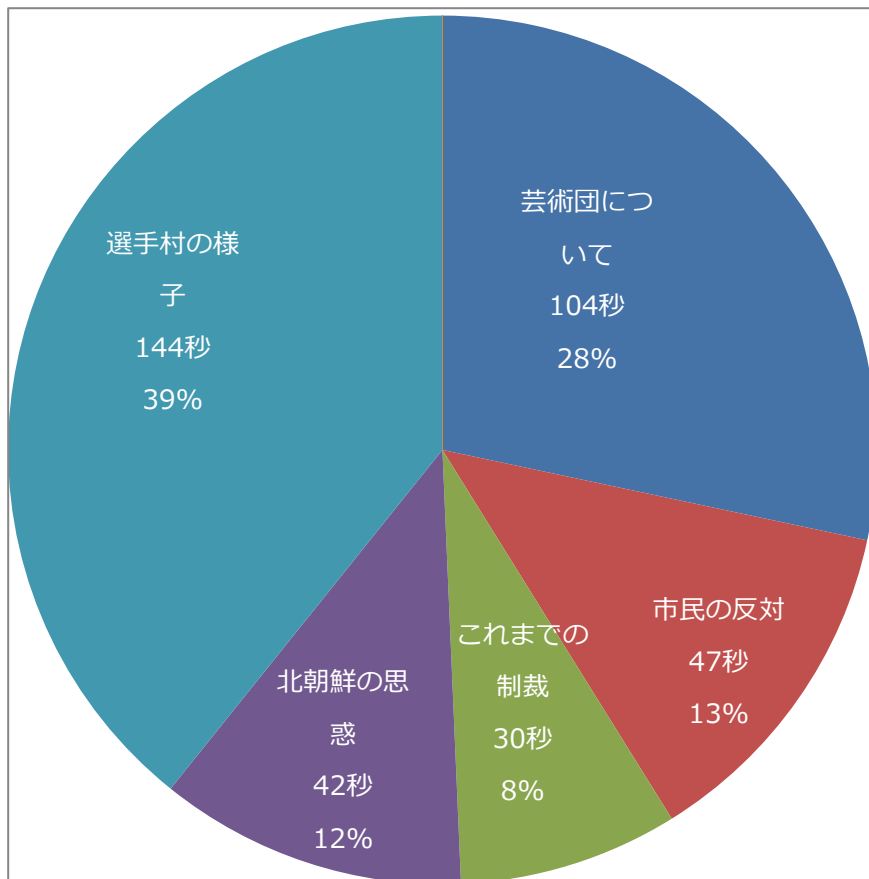
同日に他の自治体でも選挙が行われていることを知っている視聴者にとっては、こうした特定の地方公共団体での選挙にのみ焦点を当て、他の地方公共団体での選挙については全く触れないという姿勢は、テレビ局による非常に恣意的なアジェンダ・セッティングであるように映るのではないだろうか。

NEWS23 週刊報告 2 月 2 号 詳細版

テレビ局： TBS	番組名： NEWS23	放送日： 2018 年 2 月 6 日
<p>出演者： 星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈 ※宇内梨沙キャスターは平昌の国際放送センターから中継</p>		
<p>検証テーマ： 眞子さまと小室さんの結婚延期、平昌オリンピックと南北朝鮮関係 自衛隊ヘリ墜落、世界同時株安</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 眞子さまと小室さんの結婚延期を宮内庁が発表 ・ 福井県で集中豪雪 ・ 平昌オリンピックと南北朝鮮関係 ・ 橋本元神戸市議を詐欺容疑で書類送検 ・ 佐賀県、自衛隊ヘリ墜落 ・ 【速報】 世界同時株安 ニューヨーク市場、ダウ平均大幅下落でスタート 東京証券市場、一時 1600 円超の値下がり ・ スポーツ報道 ・ 天気予報 ・ 福井市の積雪 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 眞子さまと小室さんの結婚延期を宮内庁が発表 宮内庁は婚約が内定している秋篠宮家の眞子さまと小室圭さんの結婚が再来年に延期される見通しになったことが宮内庁によって発表されたと報じられた。この報道の中では眞子さまが小室圭さんとの 2 人のお気持ちを記して宮内庁に通じて寄せた文書の一部が紹介された他、これまでに至る経緯や、宮内庁の「一連の週刊誌の報道については、ご家庭のことについて色々ありました。その影響で延期になったのではなく、あくまでもご準備のための十分な時間、余裕が無いという理由です。金銭問題も含めて週刊誌報道による延期ということではありません。ご結婚の考えや意思が変わったということではありません」という見解、皇室ジャーナリストの近重幸哉氏の「タイミングとしてですね、この報道があった後ですのもう一度考え直すということのきっかけにとかそういうものになった可能性はあるのではないかな、ということはおもいました。眞子さまと小室さんがしっかりとまあ答えをですね出された、国民が安心して尚且つ国民のみんなが本当に祝福して結婚できる状態を整った上ですね、ご婚約をとということがあったのかななんて、考えることもできると思います。」という見解、街の声が紹介された。このトピックについて当てられた時間は 753 秒だったが、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。 ・ 平昌オリンピックと南北朝鮮の関係 平昌オリンピックを前にして北朝鮮の芸術団が万景峰号で韓国入りしたことが報じられた。 北朝鮮の芸術団が万景峰号で韓国へ入ったことについては、北朝鮮のミサイル発射を承けて日本政府は 2006 		

年に入港を禁止、韓国も独自制裁として北朝鮮の船舶の入港を禁じている中で、今回は韓国が例外的措置として北朝鮮船舶の入港禁止を一部解除した、ということが説明された上で、北朝鮮情勢に詳しいジャーナリストの平井久志氏の「国際社会の経済制裁の包囲網を突破するそういう一つの始まり、実績を作ったというふうには言えると思いますね。」「ま、一種自分たちのペースで物事を運んでいるんだということを韓国側に誇示したい、という優越感みたいなものを少しは感じますね。」という見立てが紹介された。こうした、制裁がなし崩し的に解除されていくことに対する韓国国内で上がっている批判の声や保守系団体のデモの様子も取り上げられた。このトピックの後半では選手村の設備の様子などが紹介された。

このトピックについて当てられた時間は 367 秒で、芸術団、それに対する市民の反対、これまでの制裁、北朝鮮の思惑、選手村の様子それぞれのポイントを取り上げた時間配分や比率は以下の通りであった。



番組後半でスポーツ報道のコーナーが設けられている割には選手村についての報道への時間配分が目立つが、今回は放送法第四条の観点から直ちに問題であると指摘するほどのことではないと考えられる。

・自衛隊ヘリ墜落

行方不明になっていた乗組員の遺体の一部が今朝発見されたこと、翼と回転部分をつなぐメインローターヘッドと呼ばれる部品を交換していたことを小野寺防衛大臣が明らかにしたことが報じられた。このトピックについて当てられた時間は秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・世界同時株安

アメリカの長期金利が急上昇したことをきっかけ投資家が株から資金を引き上げる動きを一気に強めたためアメリカ株が急落し、これをきっかけに週明けのアジアやヨーロッパなどで世界同時株安が発生、一周回って昨日のアメリカが史上最大の急落に見舞われこれが今日の東京市場を直撃した、ということが伝えられた。

またスタジオでは駒田キャスターの「日本では春闘が始まっていますよね、政府は経済界に 3%の賃上げを要求していますが、これどうなっていくですかね」というコメントに対して、星キャスターが「株価が下がってくると、その含み益も下がってくるから企業の方も賃上げに対してちょっと悲観的になってくる、慎重になってきますよね。ですから、これこのままいくとその投資にも影響してきますから、この株安がもしかすると实体经济にじわじわ効いてくる可能性はありますよね。」とコメントしていた。

今回の報道では日本政府の政策については特に触れられなかった。

このトピックについて当てられた時間は 184 秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感

・平昌オリンピックと南北朝鮮関係

韓国の北朝鮮に対する制裁がなし崩し的に解除されていくことに対する韓国国内で上がっている批判の声やデモの様子について、その担い手を「保守系の団体」と呼んでいたが、「保守系」ということについても日本の文脈と韓国の文脈では大きな違いがあるが、そうした点やそもそも「韓国での保守」がどういった政治的な立ち位置あるいは政治勢力なのかということについての補足説明は一切なかった。そうした説明を欠いたまま「保守系」という言葉を用いるのは、視聴者を混乱させたり誤った認識を持たせてしまう恐れがあり、このことが直ちに印象操作であるとまでは言えないにしても、報道として非常に不親切であるといえるだろう。

もっとも、これはアメリカ国内での政治の動きを報じる際にも同様に日本とアメリカの文脈で意味合いが異なる「リベラル」や「保守」を補足説明なしに安易に用いるというのは見受けられる問題である。いずれにしても、日本の文脈と他国の文脈では意味合いが大きな違いがある言葉について、説明を欠いたまま安易に用いるべきではないだろう。

NEWS23 週刊報告 2月2号 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年2月7日																								
出演者：星浩、雨宮塔子、皆川玲菜、駒田健吾																										
検証テーマ：平昌五輪、福井県大雪、小室さん母子と秋篠宮 担当大臣「言い間違い」で波紋、南相馬避難民の原発事故訴訟、自民党で憲法9条を議論																										
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> ・平昌五輪 ・福井県大雪 ・小室さん母子、複数回秋篠宮邸に ・担当大臣「言い間違い」で波紋 ・台湾地震 ・落書きに「浸食」される渋谷 ・大砂嵐、書類送検 ・南相馬避難民、原発事故訴訟 ・自民党、憲法9条を議論 ・スポーツ情報 ・天気情報 ・ドイツ連立交渉が合意 																										
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> ・平昌五輪 <p>北朝鮮の美女応援団を中心とした内容で、開会式に金正恩氏の妹も出席すること、芸術団について、選手村の様子、平昌オリンピックで追い風を受ける新大久保の様子、日米の対応が合わせて報道された。なおこのトピックについて報じられた時間は765秒で、各ポイントについての時間配分および比率は以下の通りだった。</p> 																										
<table border="1"> <caption>放送内容の時間配分と比率</caption> <thead> <tr> <th>トピック</th> <th>時間 (秒)</th> <th>比率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美女応援団</td> <td>372</td> <td>54%</td> </tr> <tr> <td>日米の対応</td> <td>49</td> <td>7%</td> </tr> <tr> <td>新大久保に追い風</td> <td>63</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>選手村の様子</td> <td>92</td> <td>13%</td> </tr> <tr> <td>芸術団</td> <td>93</td> <td>13%</td> </tr> <tr> <td>キム・ヨジョ氏</td> <td>26</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>新大久保に追い風</td> <td>49</td> <td>7%</td> </tr> </tbody> </table>			トピック	時間 (秒)	比率 (%)	美女応援団	372	54%	日米の対応	49	7%	新大久保に追い風	63	9%	選手村の様子	92	13%	芸術団	93	13%	キム・ヨジョ氏	26	4%	新大久保に追い風	49	7%
トピック	時間 (秒)	比率 (%)																								
美女応援団	372	54%																								
日米の対応	49	7%																								
新大久保に追い風	63	9%																								
選手村の様子	92	13%																								
芸術団	93	13%																								
キム・ヨジョ氏	26	4%																								
新大久保に追い風	49	7%																								

なお、全体的に賛否が分かれるような内容はなかったため、放送法第 4 条の検証の対象とはしなかった。

・記録的大雪、約 1100 台立ち往生

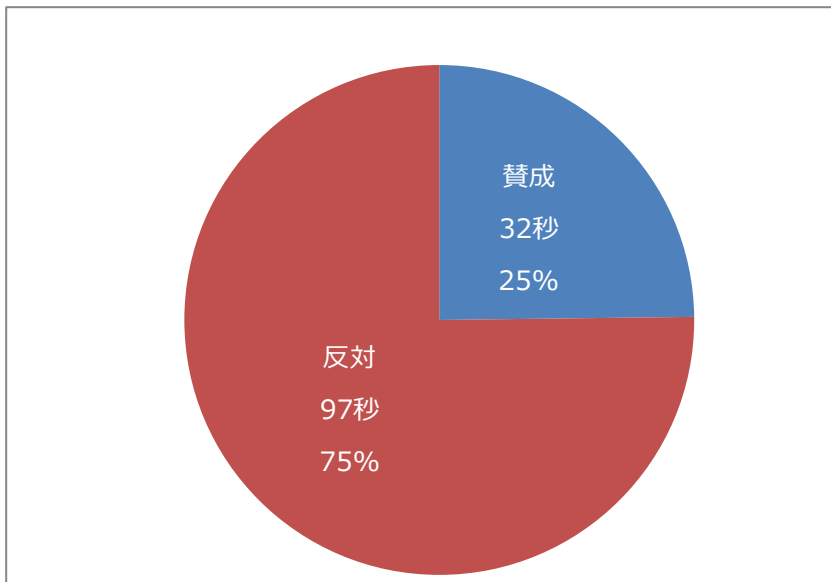
福井県内における大雪によって多数の車両が立ち往生している件についての報道。地元住民による差し入れや自衛隊による除雪作業の様子が紹介されていた。その他にも物流の混乱や物資不足など、大雪での被害を多岐にわたって紹介していた。報道のほとんどが現地の被災状況を伝える内容であり、こちらも検証の対象に当たるような内容は見当たらなかった。このトピックの報道時間は 540 秒であった。

・小室さんと秋篠宮家

先月に小室さんが三度、母親の佳代さんも年末から複数回秋篠宮邸を訪れていることがわかったことが報じられたとともに、延期の判断について週刊誌の記事とは全く関係ないという宮内庁の説明と、JNN の取材に対しての「ニュースを見て驚いている。週刊誌報道が影響しているとしか思えない」という宮内庁幹部のコメントが紹介された。

・担当大臣「言い間違い」で波紋

江崎大臣が衆議院予算委員会内において北方領土の日を「沖縄・北方の日」と発言したことについての報道。賛否の時間配分、比率は以下の通りである。肯定的なシーンが 32 秒、否定的なシーンが 97 秒、どちらでもないシーンが 95 秒あった。



否定的な意見が目立ってはいるものの、江崎大臣の失言を勘案すると致し方ないと考えられ、検証の対象とはしなかった。また委員会での大臣本人の発言シーンは 32 秒、追及していた後藤議員の発言は 25 秒と均衡している。

・

福島第一原発の事故で避難指示区域となった福島県南相馬市小高区の住民が人生と生活の拠点を奪われたなどと主張し東京電力が支払おうとした一人あたり 850 万円の慰謝料におよそ 3200 万円を上乗せするように求めていた裁判について、今日の判決で東京地裁は極めて甚大な被害で小高に生きる利益が大きく害された、として一部の原告を除き一人あたり 330 万円総額およそ 11 億円の支払いを命じる判決を言い渡されたことが報じられた。

このトピックについて当てられた時間は 39 秒で、放送法四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・自民党、憲法 9 条を議論

自民党内で憲法 9 条について議論が交わされたことに対する報道。あくまで自民党内での議論の内容が端的に伝えられており、賛否が分かれる点は無かった。なお、このトピックの報道時間は 33 秒であった。要旨は以下である。

安倍首相や党幹部が 1 項 2 項を残しつつ自衛隊の存在を明記する考えを示した。総会では 2 項を残して自衛隊を明記する意見と、2 項を削除すべきであるという意見に分かれ、意見集約は次回以降に持ち越しとなった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし。

検証者所感

・担当大臣「言い間違い」で波紋

今報道の反対意見はスタジオ内のキャスターの発言が大きな比重を占めていたものの、その中で野党が分裂したことによる追及の弱さにも言及しており、一定の公平性が見られたように思う。しかし最終的な結論に当たる部分がキャスターの発言によって左右される状況が続いているのは留意すべき点であると考えます。

また、スタジオでは星キャスターが「最近では茂木が政治資金問題を追及されてる時にね、政治資金を担当する隣の野田大臣と談笑をしましてね、これが批判をされたという事もありますね。」とコメントしている際にバッグで小野寺防衛大臣が答弁しているシーンと麻生財務大臣が答弁しているシーンの VTR が流れていた。小野寺防衛大臣が答弁しているシーンでは茂木大臣と野田大臣が神妙な顔つきで資料を見ながら話していて、茂木大臣と野田大臣が談笑しているシーンは麻生財務大臣が答弁しているシーンだった。どちらも映像だけで音声はついていないので、具体的にはどういう答弁が行われたのかは番組の映像からでは分からなかったが、茂木大臣の政治資金問題を追求する際に政治資金問題で議員辞職をした経験のある小野寺防衛大臣に質問を行うというのは想像ができるが、麻生財務大臣に質問を行うという状況は少し想像し難く、茂木大臣と野田大臣の談笑シーンありきで拾ってきた映像なのでは、と感じるものだった。

また星キャスターは与党の緩みについて「与党が圧倒多数を持ってるんですけども、野党も分断されてね今一つ質問にも迫力がないっていうのもありまして」とコメントしていたが、「野党も分断されて」という表現に違和感を覚えた。別に自民党が野党の議員に対して引き抜き工作を仕掛けているわけでもなければ、政局で攻勢をかけているわけでもなく、単に野党、特に元民進党系が政策理念の不一致や希望の党への合流などを巡っての人間関係のしこりなどで路線対立をおこしているのだから「分断されて」というのは表現としてどうなのだろう。

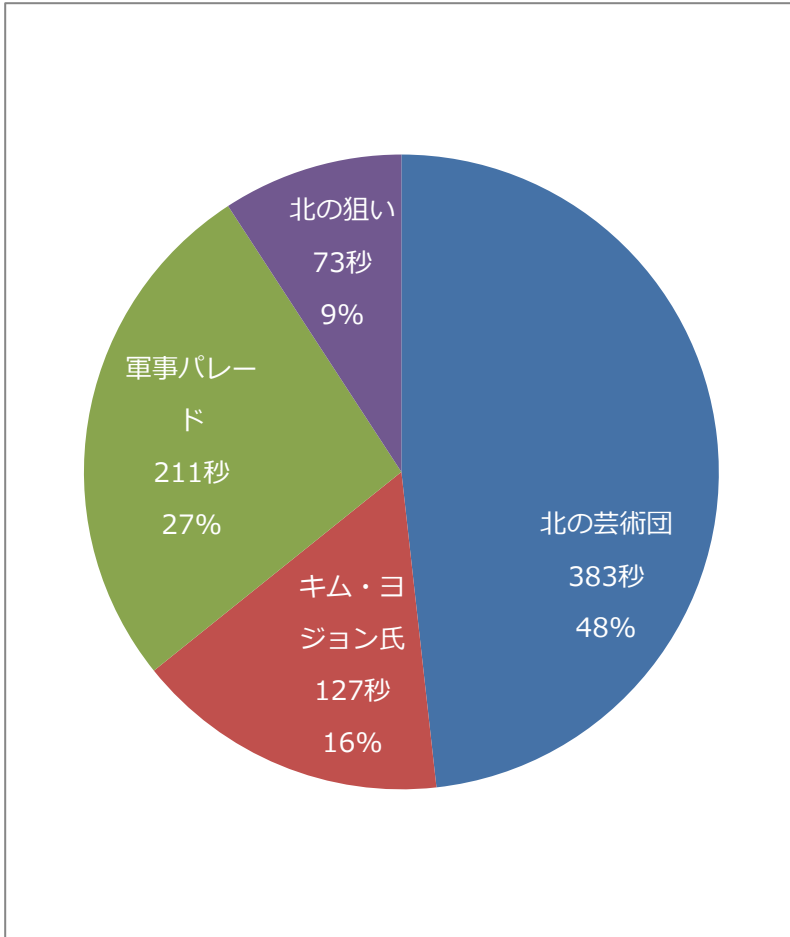
NEWS23 週刊報告 2 月 2 号 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年2月8日
出演者：【キャスター】駒田健吾、雨宮塔子、星浩、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：		
<ul style="list-style-type: none"> ・平昌オリンピック前の北朝鮮の行動 ・公立小学校で制服にアルマーニ ・ご結婚延期について宮内庁長官の発言 ・滋賀・甲賀市で昨年の衆院選の投票用紙が焼却 ・産経新聞が記事削除し謝罪 		
報道トピック一覧		
<ul style="list-style-type: none"> ・「ほほえみ」と「挑発」 平昌オリンピック前の北朝鮮の行動 ・米・スポーツ医師の性的暴行事件 公判で女性たちが証言 ・【学校のモンダイ】公立小学校で制服にアルマーニ 各所で対応される ・立ち往生から 60 時間 今夜中に解消目指すも実現せず ・台湾地震 救出活動続く ・ご結婚延期に宮内庁長官が発言 ・滋賀・甲賀市で昨年の衆院選の投票用紙が焼却 担当者を直撃取材 ・産経新聞が記事削除し謝罪 沖縄 2 紙を名指しで批判 ・スポーツ報道 ・天気予報 ・【速報】埼玉・所沢市の住宅に 2 遺体 殺人で捜査 		
放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨		
<ul style="list-style-type: none"> ・「ほほえみ」と「挑発」 平昌オリンピック前の北朝鮮の行動 		
【報道内容】		
<p>番組冒頭、平昌五輪前のこの時期、北朝鮮が相反する動きをしていることが紹介され、VTR に移った。VTR では北朝鮮の融和的行動として韓国入りした二つの芸術団の動きが伝えられた。芸術団の行動や公演の狙いが専門家によって伝えられた。また、融和的な行動の例のもう一つとして金正恩党委員長の妹のキム・ヨジョン氏が伝えられた。キム・ヨジョン氏が平昌五輪の開会式に出席し、ムン・ジェイン大統領と会合する動きが伝えられた。その後、開会式前の今日（2/9）に北朝鮮が軍事パレードを行ったことが伝えられた。軍事パレードでは金正恩党委員長が「今日の軍事パレードは世界的な軍事強国に発展した強大な朝鮮民主主義人民共和国の地位を誇示することになるでしょう。」「アメリカとその追従勢力が朝鮮半島の周辺を騒がしている今の情勢下で人民軍は高度な撃動状態を維持し、闘いの準備にさらなる拍車をかけていかなければなりません。侵略者たちが神聖な我が祖国の尊厳と自主権を 0-001 ミリも侵害したり好き勝手にさせないようにしなければなりません。」というスピーチが伝えられた。最後にスタジオに戻り、北朝鮮の硬軟両用使い分ける外交姿勢について星キャスターの解説が加えられた。</p>		

【検証結果】

今回の報道では賛否に関わる内容ではなかったため賛否の計測は行わなかった。

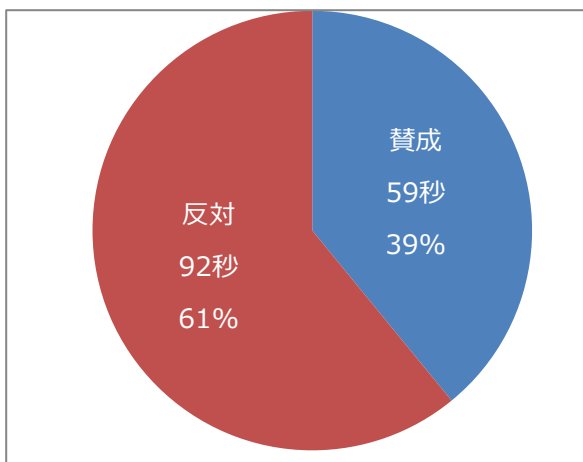
報道の内容を「北の芸術団」「キム・ヨジョン氏」「軍事パレード」「北の狙い」の4つのポイントに分けて各トピックの時間計測を行った。時間計測の結果は以下の通り。



報道では全体を通して「北の芸術団」についての報道に時間が大きく割かれていることが判る。それに比して日本の安全保障に大きく関わる「軍事パレード」についての時間配分が少ないことが気になる。芸術団の動きは韓国国内の声を意識したもので、日本に直ちに关わる内容ではないことを考えると放送法に違反する内容とはいえないが不適切であると考えられる。

・【学校のモンダイ】公立小学校でアルマーニ

銀座にある中央区立泰明小学校で和田利次校長が高級ブランドのアルマーニを標準服すなわち事実上の制服に導入することを決定したこととそれに対する、保護者の反応や国会での議論、教育評論家の尾木直樹氏の見解が取り上げられた。このトピックについて当てられた時間は 349 秒で賛否の比率は以下の通りだった。



VTR では国会での希望の党の寺田学衆議院議員の「正直、違和感を持ちました。公立小学校においてある程度の幅と保護者に対する負担っていうものを考えなければいけないなと思います。」という質問とそれに対する麻生太郎財務相の「高いっていや高いんでしょうし、80000 円っていうんですから結構高いもんだなとは思いますがね。一人だけ買えない人が出るとなるとまたこれは難しいかなと言うような感じはします。」という答弁が取り上げられた。また、VTR の中で紹介された教育評論家の尾木直樹氏の見解は「アルマーニの制服は買えませんでした、貧しくて、っていう子は、その校長の考える洋服によってスクールアイデンティティをしっかりと醸成するんだっていう教育の対象外になるんですよ。やっぱり公教育のなんたるかを完全に踏み外してしまっていて、学校が生徒を選ぶ、と。」というものだった。

泰明小学校は銀座を学区としつつも学区外からも児童を受け入れることが可能な特認校であるが、そうした背景事情については一切伝えられておらず単なる区立の普通の小学校というかたちで取り上げられていたが、そうした背景事情は今回の事例においては非常に重要な情報であると考えられるが、そうした重大な情報を伝えない報じ方は放送法四一条一項三号の「報道は事実をまげないですること。」という点で非常に不十分なものではないだろうか。

・ ご結婚延期について宮内庁長官の発言

秋篠宮家の長女、眞子さまのご結婚延期について今日、宮内庁の山本信一郎長官が初めて公の場で言及し、「お気持ちを理解いただいて静かに暖かく若いお二人のことを見守っていきたい」と話したこと、お二人の結婚の意志について改めて「変わりはないと伺っている」と説明したことが報じられた。このトピックについて当てられた時間は 27 秒で、放送法四一条の観点からは特に問題は見られなかった。

・ 滋賀・甲賀市で昨年の衆院選の投票用紙が焼却 担当者を直撃取材

【報道内容】

滋賀県甲賀市の職員が去年 10 月の衆議院議員選挙において投票用紙数百枚を紛失し、それを白票として処理した。しかし、その後開票されていない投票箱が発見され、そこに入っていた投票用紙を職員の 1 人が自宅の焼却炉で焼却してしまった。この報道で、焼却した職員に直接取材してコメントをとっていた。その後、甲賀市民

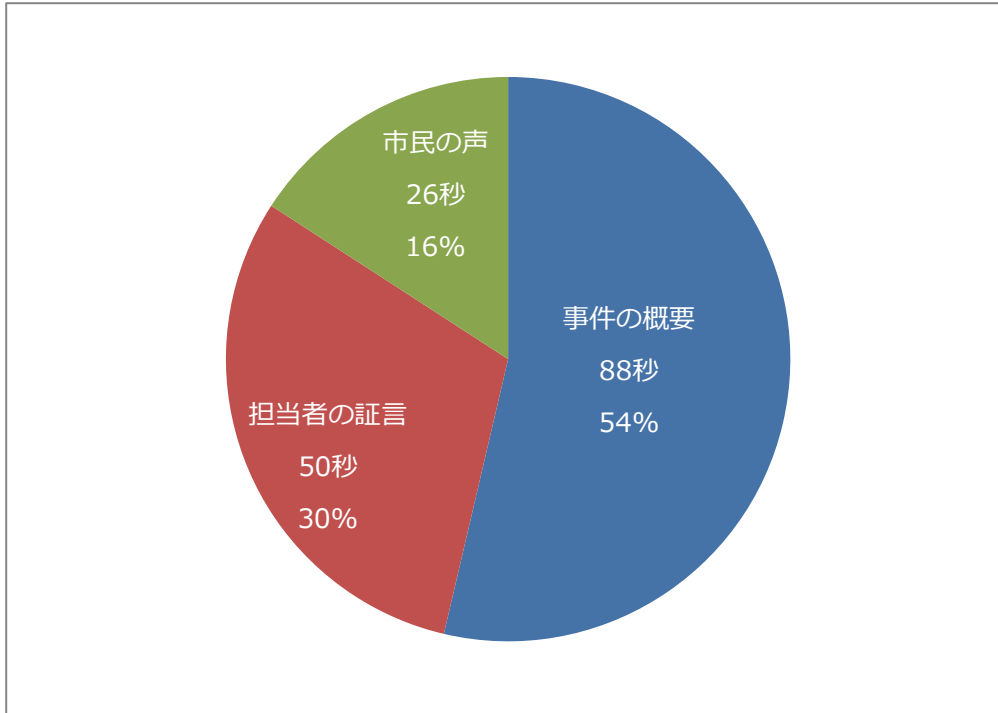
の声を紹介していた。声「そらあかんやろ。民主主義の根本やんか。最悪や。」「有権者を馬鹿にしているというか、ないがしろにしたということですよ。だから一人一人の思いというのがそこで消されてしまっている。やっぱり例え1票でもその人の思いというのがそこに入っていると思うので。」

【検証結果】

賛否に関わる内容ではなかったなので賛否計測は行わなかった。

トピックを「事件の概要」「担当者の証言」「市民の声」の3種に分け、各トピックの時間計測を行った。結果は以下の通り。

「事件の概要」：88秒（54%） 「担当者の証言」：50秒（30%） 「市民の声」26秒（16%）



・産経新聞が謝罪記事

産経新聞が、去年12月沖縄で起きた車6台が絡む玉突き事故について取材が不十分で行き過ぎた表現があったとして今日の一面に謝罪記事を掲載したことが報じられた。また、行き過ぎた表現については「日本人救った米兵、沖縄二紙は黙殺」、「メディア、報道機関を名乗る資格はない、日本人として恥だ」というものだったことがVTRの中で補足説明されていた。このトピックについて当てられた時間は149秒だった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・【学校のモンダイ】公立小学校でアルマーニ

アルマーニの標準服への導入が決定された中央区立の泰明小学校について報道の中では一貫して「単なる公立小学校」として扱われていたが、この泰明小学校については中央区での学校選択制である特認校制度の対象校となっており、1.学校説明会へ参加すること、2.児童とその保護者が、就学を希望する特認校の教育方針に賛同すること、3.児童が特認校へ自力で通学すること(自転車通学は禁止されています。公共交通機関での通学について

は、保護者の責任で、安全確保ができる方法で通学できることが条件です。)、4.児童が特認校へ卒業まで通学すること、以上すべての条件を満たして申請を行った場合は学区外からの通学も認められること、また申請者が定員を上回る場合は入学者を抽選によって決定するとされている。また、特認校制度を使わずに泰明小学校に通学するのは泰明小学校の学区内に住む児童であるが、泰明小学校の学区は銀座一丁目[2～10番、11番(1,2号)]、銀座二丁目[2～9番]、銀座三丁目[2～8番]、銀座四丁目[1～8番]、銀座五丁目～八丁目である。

学区内の地価水準が非常に高いこと、学区外からの入学も認める特認校制度を取っていること、これらの事情を勘案すると視聴者一般が想起するような「公立小学校」とは程遠いことは明らかである。普通の公立小学校がアルマーニの服を標準服として導入するのと、銀座を学区としつつも学区外からの児童の受け入れは申請多数の際は抽選によって決定する中央区立の特認校がアルマーニの服を標準服として導入するというのでは、意味合いが大きく異なってくる。しかし、今回の報道では、泰明小学校を取り巻くこうした事情を説明せずに、あたかも「普通の公立小学校」であるかのように取り上げていたが、これは視聴者に対して誤った印象を与えてしまうおそれが高いばかりか、泰明小学校について十分な情報を伝えていた場合とは異なる結論・心証形成へと至らしめる恐れのある、視聴者に対する極めて悪質な印象操作であるといえる。

なお、泰明小学校についての特認校制度および学区についての情報は以下の URL を参照にした。

中央区ホームページ小学校特認制度

(<http://www.city.chuo.lg.jp/kosodate/gakkokyouiku/sentaku/tokuninko.html>)

中央区ホームページ小中学校通学区域

(<http://www.city.chuo.lg.jp/kosodate/gakkokyouiku/nyugaku/kuritugakkoannai.html>)

検証者所感

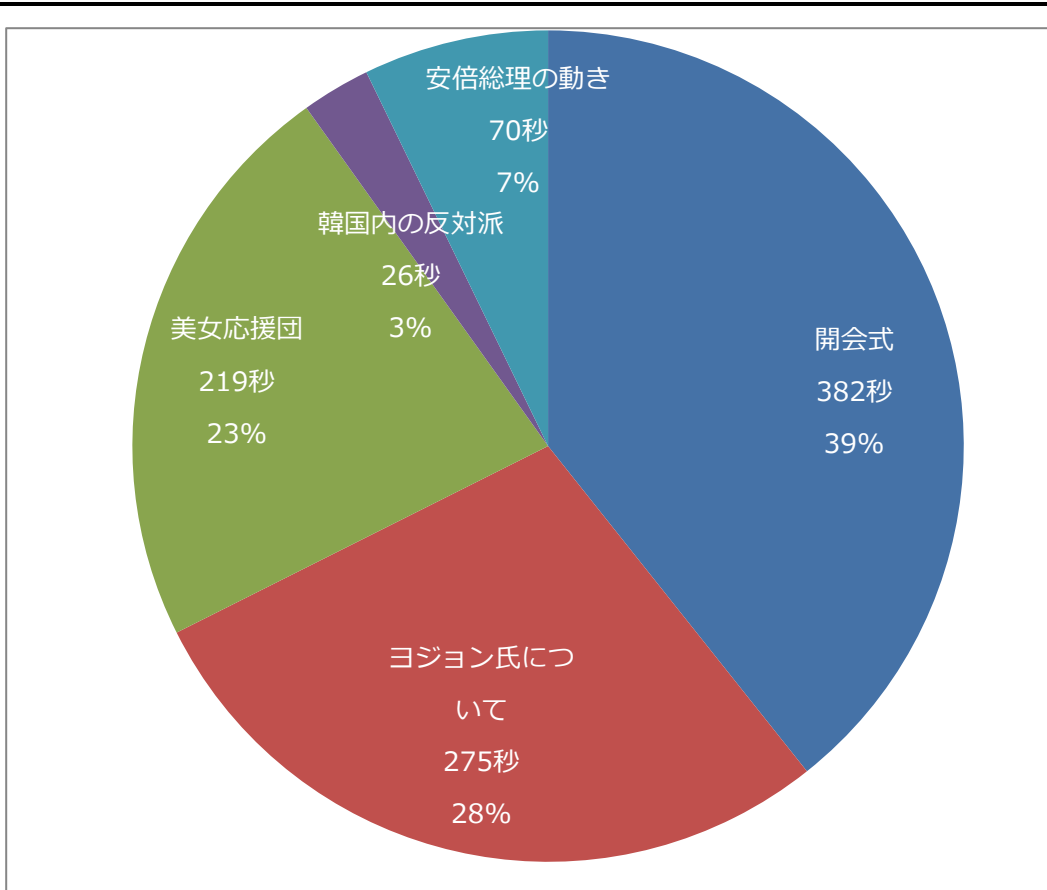
・【学校のモンダイ】公立小学校でアルマーニ

教育評論家の尾木直樹氏は「アルマーニの制服は買えませんでした、貧しくて、っていう子は、その校長の考える洋服によってスクールアイデンティティをしっかりと醸成するんだっていう教育の対象外になるんですよ。やっぱり公教育のなんたるかを完全に踏み外してしまっていて、学校が生徒を選ぶ、と。」の、アルマーニの標準服導入を批判していたが、「印象操作に関する所見」でも記したように、そもそも泰明小学校は学区外からの児童の受け入れを行っており、申請者が多数の場合は抽選によって受入児童を決定している。ということはつまり、標準服の導入がなくとも現状でも既に「学校が生徒を選ぶ」ということが行われていると言える。

生徒や保護者が学校を選べるようになるという制度を導入すれば、多くの生徒や保護者から選ばれる学校、すなわち定員に比べて志願者の多い学校では必然的に学校も生徒を選ばざるを得なくなる。その基準が学力なのか、スポーツなのか、推薦なのか、抽選なのか、今回のような標準服へのコストなのかは学校によるだろうが、いずれにせよ志願者の多い学校は何らかの基準で受け入れる生徒を選ばざるをえない状況にある。尾木氏の「公教育は学校が生徒を選ぶことがあってはならない」というのは一つの見識ではあるが、それを今回の事例でも言うためには、そもそも前提にある中央区の特認校制度にも言及しなければ不十分だろう。

NEWS23 週刊報告 2 月 2 号 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年2月9日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：平昌オリンピック開会式と国際関係、江崎大臣の言い間違い、 中央区立泰明小学校のアルマーニ制服		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平昌オリンピック開会式 開会式でも微笑み外交 ・平昌オリンピック(スポーツ報道) 開会式に先立つフィギュアスケート、団体戦1日目 男子モーグル予選 ・江崎大臣の言い間違い ・中央区立泰明小学校のアルマーニ制服、校長会見「変える考えはない」 ・富山県、県立高校で教諭が生徒44人の髪を切る ・スポーツ報道 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平昌オリンピック開会式 韓国の平昌オリンピックの開会式について、開会式の様子や開会式に出席した北朝鮮の金正恩党委員長の妹キム・ヨジョン氏、北朝鮮の美女応援団、北朝鮮への融和に対する韓国国内の反対派の様子、平昌オリンピック開会式での安倍総理の動きなどが報じられた。このトピックについて当てられた時間は秒であるが、この時間計測からは選手や競技についての報道は除外している。なお、各ポイントについて焦点の当てられた時間の配分及び比率は以下の通りである。 		



なお、放送法四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・江崎大臣の言い間違い

江崎鉄磨沖縄・北方担当大臣が一昨日は北方領土の日を沖縄北方の日と言い間違い野党に批判されたこと、昨日は交付金の減額について 65 億円を 650 万円と言い間違えたことが野党に批判されたことに続いて今日は琉球処分を沖縄処分と言い間違えたこと、今回は野党のみならず与党・公明党からも苦言を呈されたとのことが報じられた。

なお、VTR では金額の言い間違いについて立憲民主党の本多平直衆議院議員が追求するシーンと、今日の言い間違いについて公明党の井上義久幹事長が苦言を呈するシーンが取り上げられていた。

このトピックについて当てられた時間は 119 秒であったが、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・中央区立泰明小学校のアルマーニ制服

アルマーニの制服を導入することを決めた小学校の校長が会見で「変えるつもりはない」ということを改めて表明したことが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 128 秒であったが、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

- ・ 特になし

検証者所感

- ・ 中央区立泰明小学校のアルマーニ制服

今回の報道では泰明小学校は中央区銀座にある区立小学校、として取り上げられていたが、この小学校が学校選択制の対象となっている特認校であること、泰明小学校の元々の学区は銀座の一部のみであることについては全く触れられなかった。今回は報じられたのは殆どが校長の会見であったこと、トピックに当てられた時間も 128 秒と比較的短かったことから、直ちに放送法第四条や印象操作という観点から問題が有るとは言えないものの、やや疑念の残る報道の仕方であると感じられた。